

第一礼拝次第

メッセージ: 渡真利彦文牧師

ライブ配信: 郭永東牧師



前奏			
頌栄	540	会衆	会衆
主の祈り			
プレイズ	「世の初め」 「注ぎたまえ主よ」	会衆	会衆
聖書朗読	使徒言行録1:6~14 (新約聖書 p213)	司会	司会
祈賛	166	司会	会衆
メッセージ	「ペンテコステへの備え②」	牧師	牧師
祈賛	255	会衆	会衆
献金			
報告		司会	司会
頌栄	672b	会衆	会衆
祝		牧師	牧師

**第二礼拝次第 (英語礼拝)**

メッセージ: アドリアン・アルセ師

司会: エゼル・アルセ兄 奏楽: 郭永東牧師

プレイズ: 「マジェスティ」

「大いなる方に」

「イエスは愛で満たす」

賛美: 「驚くばかりの」

**ファミリー礼拝**

聖書: ルカ 12:13~21

メッセージ: 「愚かな金持ちのたとえ」

<巻頭言>**「アガパンサス」**

牧師 渡真利彦文

先々週、神学校の先輩の召天記念誌を手にししました。彼の晩年の約10年間はアルツハイマー型認知症との共存であったそうです。アルツハイマー型認知症は脳だけで無く、内臓・筋肉・心が関係している病気です。徐々に身体機能は衰えていきましたが、特に心を平安にして、身体を良い状態に保つことを毎日の目標にして生きていったと、家族は書いています。

彼は大学時代にゴルフと出会い、ゴルフに夢中になり、その後ティーチングプロとなりました。プロになった後、イエスさまに出会い人生が変わりました。さまざまな試練やサタンの誘惑にくじけそうになったこともありましたが、イエスさまは祈りにかなった助けと導きを与えてくださいました。そして「収穫は多いが、働き人が少ない」(マタイ9:37)のみ言葉に押し出されて、神学校で学ぶ思いが与えられたのでした。ゴルフをすることもあきらめ、プロのライセンスも返上して神学校で学ぶようになりました。

牧師になりゴルフをやめた彼でしたが、不思議にもゴルフを通しての宣教の働きへと主は導いてくださったそうです。

記念誌は小冊子で写真と証で構成されていました。そして「アガパンサス」の紫色の花の写真が表紙にありました。アガパンサスは、ギリシャ語のアガペー(神の愛)とアンサス(花)から「神の愛の花」と名付けられた花なのです。先輩の人生は神の愛で導かれていたのだと示しているようでした。

主なる神は私たち一人ひとりに道を備え、愛をもって導いてくださいます。